

- 問1 日本の選挙制度において、小選挙区制と比較した際の比例代表制（ドント方式等による配分）の大きな特徴や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 最多得票者1人のみを選出することで、特定の政党が安定した過半数の議席を確保しやすくする。 | 2. 候補者の個人名による投票を重視することで、政党の力よりも人物本位の政治を実現する。 | 3. 選挙区の面積を小さく設定することで、候補者と有権者の距離を縮め、地域密着型の政治を行う。 | 4. 得票率と議席率の乖離を抑えることで、少数意見を議会に反映させやすくし、死票を減らす。 |
|---|--|---|---|
- 問2 日本の選挙制度の変遷と現状について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 1925年の法改正によって、納税額による制限は撤廃されたが、選挙権は依然として男性のみに限定されていた。 | 2. 現在の日本国憲法下では、一票の価値に差をつけないことを「普通選挙」と定義している。 | 3. 2015年の公職選挙法改正により、被選挙権（立候補できる権利）がすべての役職で満18歳以上に引き下げられた。 | 4. 明治時代の初期から、納税額に関わらずすべての成人男女に選挙権が認められていた。 |
|---|--|---|--|
- 問3 現代の多くの国家では、人口が非常に多く、すべての国民が一堂に会して話し合うことが困難です。そのため、主権者である国民が選挙によって代表者を選び、その代表者が議会で話し合って政治の方針を決定する仕組みがとられています。このような政治のあり方を何と呼びますか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 間接民主制 | 2. 三権分立 | 3. 直接民主制 | 4. 国民主権 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問4 日本の衆議院小選挙区において、有権者数が約50万人の都市部の選挙区に対し、地方の選挙区が約20万人となっているような状況では、一票の重みに大きな差が生じます。これを受けて、2014年には高知県の選挙区を3つから2つに減らすなどの対策が取られました。このような措置を行う本来の目的として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 有権者数の変化に合わせて議員定数や選挙区割りを変更、一票の重みの不平等を是正するため | 2. 選挙区を統合して面積を広くすることで、比例代表制の候補者が活動しやすくするため | 3. 公務員の人数を削減し、選挙管理委員会が負担する運営費用を節約するため | 4. 地方の選挙区を減らすことで、都市部の投票率を相対的に向上させるため |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 1925年に日本で普通選挙法が制定された際、選挙権の拡大にともなう社会主義運動の激化を警戒した政府が、同時に制定した法律として正しいものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. 治安警察法 | 2. 破壊活動防止法 | 3. 国家総動員法 | 4. 治安維持法 |
|----------|------------|-----------|----------|
- 問6 2016年の参議院議員選挙から、選挙権年齢が従来の20歳以上から18歳以上に引き下げられました。この選挙における統計では、全国の10歳代の有権者のうち、実際に投票所へ行って票を投じた人の割合が46.8パーセントであったと記録されています。この「実際に投票を行った人の割合」を指す用語として、適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 連座制 | 2. 定数は正 | 3. 被選挙権 | 4. 投票率 |
|--------|---------|---------|--------|
- 問7 日本の選挙制度において、参議院議員選挙および都道府県知事選挙に立候補するために必要な年齢要件（被選挙権）として正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 満18歳以上 | 2. 満20歳以上 | 3. 満25歳以上 | 4. 満30歳以上 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問8 選挙制度を「死票（当選に結びつかなかった票）の多さ」と「議会での合意形成の速さ」という二つの軸で分類したとき、比例代表制の性質を説明したものとして適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 死票が多く特定の政党に議席が集中するため、速やかな意思決定ができる。 | 2. 死票が少なく二つの大きな政党のみが議席を占めるため、決定が非常に速い。 | 3. 死票が少なく多くの政党が議席を得るため、議会での意見調整に時間がかかる。 | 4. 死票が多く多様な意見が切り捨てられるため、議論の対立が起こりにくい。 |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
- 問9 定数5議席の選挙区において、比例代表制（ドント方式）で選挙が行われました。A党が15,000票、B党が12,000票、C党が6,000票、D党が3,000票を獲得した場合、A党に配分される議席数はいくつになりますか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1議席 | 2. 3議席 | 3. 2議席 | 4. 4議席 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 国政選挙において、ある選挙区では有権者約20万人で1人の議員が選出されるのに対し、別の選挙区では議員1人を送り出すために約40万人以上の有権者が必要となる場合があります。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって、国民が持つ一票の政治的な価値に不平等が生じている状態を何といいますか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|------------|----------------|
| 1. 一票の格差 | 2. 死票の増大 | 3. 政党助成金制度 | 4. 小選挙区比例代表並立制 |
|----------|----------|------------|----------------|
- 問11 日本の選挙制度の変遷について、明治時代と現代を比較した説明として最も適切なものはどれか。なお、明治時代の投票用紙には投票者の氏名や住所を記入する欄があったが、現代の用紙にはそれらが存在しないという点に留意して答えなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 明治時代は秘密選挙を守るために記名が必要だったが、現在はプライバシー保護のために無記名となった。 | 2. 明治時代は特定の人物への重複投票を防ぐために記名式が採用され、現在もその制度が一部に残っている。 | 3. 明治時代は記名投票であったが、現在は誰が投票したか分からない無記名の秘密選挙が徹底されている。 | 4. 明治時代から一貫して無記名投票が行われているが、現在は不正防止のために住所の確認が厳格化された。 |
|---|---|--|---|
- 問12 1つの選挙区から1人の代表者を選ぶ小選挙区制において、ある選挙区の開票結果が「当選者の得票数が59,488票、落選した候補者3名の得票数の合計が93,412票」となりました。このように、当選者の得票数よりも落選者の得票数の合計の方が多い場合、議席に結びつかなかった多くの票を何といいますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 無効票 | 2. 比例票 | 3. 浮動票 | 4. 死票 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問13 現代の民主制において、国民が自らの考えに近い候補者や政党を代表者として選ぶことで、自分たちの「意見」を実際の「政治」に結びつけ、具体的に「反映」させるために行われる最も基本的な仕組みはどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|-------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 内閣総理大臣による国民投票の実施 | 2. 裁判所による違憲審査制の運用 | 3. 有権者による選挙での投票 | 4. マスメディアによる世論調査の集計 |
|---------------------|-------------------|-----------------|---------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 得票率と議席率の乖離を抑えることで、少数意見を議会に反映させやすくし、死票を減らす。	比例代表制は、各政党の総得票数に応じて議席を割り振るため、小選挙区制のように「当選者以外の候補者に投じられた票がすべて無効になる（死票）」という現象を抑えることができます。ドント方式などの配分計算を用いることで、規模の小さな政党であっても一定の支持があれば議席を得られる可能性が高まり、多様な国民の意見を議会に反映させることができるというメリットがあります。
問2	答え 1 1925年の法改正によって、納税額による制限は撤廃されたが、選挙権は依然として男性のみに限定されていた。	日本の選挙の歴史において、1925年の普通選挙法では25歳以上の男性に選挙権が与えられ、納税額による制限がなくなりました。しかし、女性に選挙権が認められたのは第二次世界大戦後の1945年のことです。現在、満18歳以上のすべての国民に選挙権を認める仕組みは、憲法に基づく普通選挙の原則として確立されています。
問3	答え 1 間接民主制	国民が直接政治に参加するのではなく、代表者を通じて意思決定を行う仕組みを指します。代表民主制とも呼ばれ、現代の広大な領域や多くの人口を持つ国家において、現実的に民主主義を運用するために不可欠な制度となっています。
問4	答え 1 有権者数の変化に合わせて議員定数や選挙区割りを改め、一票の重みの不平等を是正するため	最高裁判所から「違憲状態（憲法に違反する状態）」との判決が出されないよう、国会は定期的に選挙区の区割りを見直したり、定数を調整（増減）したりする必要があります。高知県の選挙区削減は、人口の少ない地域の議員定数を減らし、1票の重みが他の地域と比べて不当に大きくならないようにするための「是正」措置の一環です。これにより、都市部の有権者との間にある不平等を解消することを目指しています。
問5	答え 4 治安維持法	政府は普通選挙法によって労働者や農民など幅広い層が政治に参加することで、当時のロシア革命などの影響を受けた社会主義的な思想が広まることを恐れました。そのため、国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社や活動を厳しく取り締まるこの法律をセットで成立させ、民主化と引き換えに思想統制を強化しました。
問6	答え 4 投票率	選挙において、投票を行う権利を持っている人を「有権者」と呼びます。この有権者の総数に対して、実際に「投票」を行った人の割合を示す指標が「投票率」です。2016年の参議院議員選挙は、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから初めての国政選挙であり、新しく有権者となった10歳代の動向が注目されました。
問7	答え 4 満30歳以上	参議院議員と都道府県知事の被選挙権は「満30歳以上」と定められています。選択肢にある「満25歳以上」は衆議院議員や地方議会議員、市町村長の被選挙権であり、混同しやすいポイントです。また、「満18歳以上」は投票することができる選挙権の年齢要件です。
問8	答え 3 死票が少なく多くの政党が議席を得るため、議会での意見調整に時間がかかる。	比例代表制は得票率に応じて議席を配分するため、落選者に投じられた無駄な票（死票）が少なくなるというメリットがあります。しかし、その結果として議会内に多くの政党が誕生しやすくなり、物事を決定する際の議論や調整に時間がかかってしまうという課題も抱えています。
問9	答え 3 2議席	ドント方式で計算すると、各党の得票数を1で割った値は、A党15,000、B党12,000、C党6,000、D党3,000となります。次に2で割ると、A党7,500、B党6,000、C党3,000、D党1,500となります。これらの数値を大きい順に並べると、1番目が15,000（A党）、2番目が12,000（B党）、3番目が7,500（A党）、4番目と5番目が6,000（B党とC党）となり、定数5議席に達します。したがって、A党に配分される議席は2議席となります。
問10	答え 1 一票の格差	日本国憲法は「法の下での平等」を定めており、選挙においても一人ひとりの一票の重みが等しいことが原則です。しかし、都市部への人口集中などにより、議員1人あたりの有権者数が選挙区によって大きく異なる現象が起きています。この不平等な状態を「一票の格差」と呼び、最高裁判所によって「違憲（憲法違反）状態」と判断されることもあります。
問11	答え 3 明治時代は記名投票であったが、現在は誰が投票したか分からない無記名の秘密選挙が徹底されている。	1889年に制定された衆議院議員選挙法などの初期の制度では、投票用紙に自署する「記名投票」が行われていました。しかし、これでは投票の内容が他人に知られてしまうため、自由な意思表示を妨げる要因となりました。その後の改革により、現在の選挙では氏名を書かない無記名投票による秘密選挙が原則となっています。
問12	答え 4 死票	小選挙区制は、1つの選挙区で最も多くの票を得た1名だけが当選する制度です。当選者以外の候補者に投じられた票はすべて議席の獲得に結びつかないため「死票」と呼ばれます。設問の例では、当選者の得票よりも、落選者に投じられた票の合計（死票）の方が上回っており、民意が正確に反映されにくいというこの制度の課題を示しています。
問13	答え 3 有権者による選挙での投票	日本が採用している議会制民主主義（間接民主制）では、国民が自分たちの代表者を選び、その代表者が議会で話し合うことによって政治が行われます。この過程で、国民一人ひとりが自分の考えに最も近い代表者を選ぶ「選挙」は、国民の意思を政治の場へ届けるための欠かせない手段となっています。